

2013年3月3日(日)

「西日本新聞」に掲載されました。

# 被災地の障害者作品 カレーや缶詰を販売

9日、川崎町 地元住民の衣類や陶器も

アクティブセンター」は9日午前10時〜午後3時、東日本大震災で被災した障害者たちが作った商品の販売会をセンター内で開く。

販売するのは、被災地の障害者が製造に関わった牛タンカレーや鯨の缶詰、みそ、つみれ汁など。フリーマーケットも開催し、センター利用者が作った食品や手芸品、地域住民が提供した衣類や陶器などを販売し、収益の一部を被災地の障害者に届ける。

害者施設を訪れて利用者の作業を手伝ったセンター長の柏木利一さんは「震災から2年がたつが、被災地はまだまだ支援が必要。多くの人に来場してもらい、被災地を支援する思いを共有したい」と話す。同センター＝0947(50)8415。

(中川博之)

川崎町池尻の障害福祉  
サービス事業所「すみれ

震災後の2011年6  
月に福島県南相馬市の障